

2026 年 7 月 1 日
日本銀行山形事務所

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き (2026 年 6 月調査)

1. 業況判断

6 月調査では、非製造業は悪化したものの、製造業は改善したため、全産業では 3 ポイント改善し、水準 11 となった。前回調査では 5 ポイント悪化の、水準 3 を予測していた。

製造業 . . . はん用・生産用・業務用機械は悪化したものの、鉄鋼・非鉄金属・金属製品などが改善したため、全体では前回調査から 5 ポイント改善し、水準 15 となった。前回調査では、7 ポイント悪化の水準 3 を予測していた。

非製造業 . . . 建設などは改善したものの、運輸・郵便、宿泊・飲食・対個人サービスが悪化したため、全体では前回調査から 1 ポイント悪化し、水準 6 となった。前回調査では、3 ポイント悪化の水準 4 を予測していた。

先行き (2026 年 9 月予測)は、製造業、非製造業ともに悪化するため、全産業では 8 ポイント悪化の水準 3 との予測。

2. 売上・収益計画

(1) 売上高

2025 年度 (実績)は、製造業 (前年度比 0.1%)、非製造業 (同 4.3%) とともに増収となり、全産業では同 2.1%の増収。

前回調査との比較では、製造業 (修正率 0.0%) は不変、非製造業 (同 0.9%) は上方修正となり、全産業では 0.4%の上方修正となった。

2026 年度 (計画)は、製造業は前年度比 1.3%の増収、非製造業は同▲2.0%の減収となり、全産業では同▲0.3%の減収計画。

前回調査との比較では、製造業 (修正率 1.1%)、非製造業 (同 0.3%) とともに上方修正となり、全産業では 0.7%の上方修正となった。

(2) 経常利益

2025 年度 (実績)は、製造業 (前年度比 9.1%)、非製造業 (同 26.9%) とともに増益となり、全産業では同 14.9%の増益。

前回調査との比較では、製造業 (修正率 12.1%)、非製造業 (同 6.7%) と

もに上方修正となり、全産業では 10.1%の上方修正となった。

2026 年度（計画）は、製造業（前年度比▲7.4%）、非製造業（同▲23.6%）ともに減益となり、全産業では同▲13.2%の減益計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率▲2.8%）、非製造業（同▲1.5%）ともに下方修正となり、全産業では▲2.4%の下方修正となった。

3. 設備投資額（含む土地投資額）

2025 年度（実績）は、製造業（前年度比▲33.1%）、非製造業（同▲35.6%）ともに減少となり、全産業では同▲34.0%の減少。

前回調査との比較では、製造業（修正率 0.1%）、非製造業（同 6.2%）ともに上方修正となり、全産業では 2.1%の上方修正となった。

2026 年度（計画）は、製造業は前年度比 2.9%の増加、非製造業は同▲18.9%の減少となり、全産業では同▲4.7%の減少計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率 1.8%）、非製造業（同 4.1%）ともに上方修正となり、全産業では 2.5%の上方修正となった。

4. 雇用

雇用人員判断・・・ 非製造業の「不足」超幅は縮小したものの、製造業の「不足」超幅が拡大したため、全産業の「不足」超幅は▲42 と前回調査から「不足」超幅が拡大した。先行き（2026 年 9 月予測）は、「不足」超幅の縮小を予測。

新卒採用計画（全産業）・・・ 2026 年度は、前回調査（2025 年 12 月調査）から上方修正（修正率 1.3%）されるも、前年度を下回る計画（前年度比▲0.5%）。

2027 年度は、前年度から横ばいの計画（前年度比 0.0%）。

以 上